

意見広告

## 『同行避難』

～動物と一緒に避難すること～

自然災害は時に想定外の被害を突然もたらします。

特に地震はいつ起こるか予測もつきません。皆様のペットはその時…

飼主さんが在宅中に災害が起こるとは限りません。

いざという時のために飼主さんが留守の時の状況を一度話し合ってみてください。

一緒にいるときはどうするか、誰もいない時のためにできることは、飼い主さんの住宅環境によって、それぞれ違いがあると思います。

家具が倒れないように固定しておくこと。身を隠せる場所を確保しておくこと。

ペットを含めて家族全員が無事であるためにできることは何か考えてみてください。

いざという時には飼い主であるあなたが頼りです。

いざという時のために…

- ✓ ケージの中で生活できますか？
- ✓ マイクロチップを装着していますか？
- ✓ 予防接種をしていますか？
- ✓ 犬の登録は済んでいますか？
- ✓ いつものお薬・フードを用意していますか？
- ✓ 不妊・去勢手術をしていますか？
- ✓ 情報を記入したペットカードを備えていますか？
- ✓ 日頃から基本的なしつけをしていますか？

動物と一緒に避難する市民の皆様のため動物を飼育していない市民の皆様とともに避難できるように。

そして少しでも早く、またいつもの生活に戻れるように。

私達、横浜市獣医師会は、いざという時のために、横浜市と協力しています。

公益社団法人 横浜市獣医師会

会長 井上 亮一

横浜市磯子区西町14-13

TEL 045-175-1150 32